

# FUTURE

柴田町

## 社会福祉協議会だより

2022  
12.25  
vol.166

この広報誌は、皆様の会費と赤い羽根募金の配分金により作成されております。

### 主な内容

- 2022福祉まつり特集……………P1
- ふれあい交流会・ひと足早いクリスマスコンサート……………P2
- 「いこの日」促進事業研修会・コミュニティガーデン講座……………P3
- ふれあいネットワーク互助事業 有償ボランティア募集……………P4
- サロンコンサート・柴田町地域包括支援センター……………P5
- 福祉大会受賞者・ボランティアNPO研修会・香風曼珠沙華展・ご寄付……………P6
- 社協からのお知らせ……………P7



10/30  
開催

## 福祉まつり2022

地域共生社会×福祉でまちづくり

大勢のみなさまにご来場いただきありがとうございました。

オープニングセレモニー:熊野幼稚園鼓隊演奏  
可愛らしく見事な演奏でした。



社会福祉法人  
柴田町社会福祉協議会

〒989-1606 柴田町大字船岡字中島68番地  
URL <http://www.s-shakyo.jp>

TEL.0224-58-1771  
E-mail: [mirai@s-shakyo.jp](mailto:mirai@s-shakyo.jp)

# 福祉まつり 2022

来場者数 **781人** 参加協力団体等 **319人** 総参加数 **1,100人**

今年開催された「福祉まつり」は、ともに生きる豊かな地域社会の実現に向けて『福祉でまちづくり』を推進するもとの目的で開催しました。

コロナ禍ではありましたが、ご来場いただきました町民の皆様をはじめ今回のイベントに御支援、御協力をいただいた各関係団体の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。



開会あいさつ：武田社協会長



来賓あいさつ：滝口町長様



サ・ドリームステージ  
協力：槻木ウインズサークル 他 2 団体



スペシャル・アトラクション  
協力：えずこウインド♪アンサンブル演奏



フリーマーケット  
協力：17 ブースの個人、団体等



アクティブ・エイジング  
協力：9 団体等



模擬店  
協力：7 団体等



赤い羽根チャリティバザー  
協力：船岡グラマの会、他 2 団体



駄子ども秘密基地  
協力：わくわく元気応援クラス、他 1 団体



駄菓子・縁日  
協力：ガールスカウト宮城 11 団、他



コミュニティカフェ  
協力：みやぎ生協協同組合センター、他 1 団体

# 第38回 ふれあい交流会

10/25

75歳以上のひとり暮らしで介護保険制度を利用していない方対象

## 柴田町地域福祉センター

今年で38回目となる「ふれあい交流会」を開催しました。交流会は阿部弘子氏の「なつかしのヒーローに会える！」アニメソングヒットメドレーのコンサートを聴きながら、劇あり、クイズの他に、楽器の演奏体験等があり、参加者からは笑顔がこぼれ、楽しい一時を過ごしていただきました。



阿部 弘子氏の演奏



集合写真



第9回

# 「ひと足早いクリスマスコンサート」

11/22

～クリスマスファンタジー ようこそ ティズニーの世界へ～

柴田町地域福祉センターにおいて、今年で9回目となる「ひと足早いクリスマスコンサート」を開催しました。

阿部弘子氏ならではのファンタジーで楽しいクリスマスの世界により、会場は、クリスマスファンタジーさながら“光のテーマパーク”で幻想的な世界に「白雪姫、シンデレラ姫」など、キャラクターがとてもゴージャスに登場し、楽しいストーリーが繰り広げられました。

また、参加者の皆さんと一緒に楽器演奏の体験があり「楽しさがギョツと詰まった」心温まるひと足早いクリスマスを過ごしました。



阿部 弘子氏の演奏



町内に住む70歳以上75歳未満のひとり暮らしの方  
70歳以上の日中ひとり暮らしの方で介護保険認定を受けてない方対象



集合写真

11/11

## 第3回「いこいの日」促進事業研修会

参加者：99名(社協支部長、いこいの日ボランティア)



### 演題：「住民力」超高齢社会を生き抜く地域のチカラ

今回の研修会は、基調講演として法政大学現代福祉学部コミュニティ学科 教授 宮城 孝氏を講師に迎え、演題「住民力」超高齢社会を生き抜く地域のチカラと題して講演いただきました。



超高齢化や頻発する自然災害、また最近のコロナ禍など、私たちの暮らしや生命を脅かす大きなリスクにたびたび襲われる時代である。このような時代であるからこそ、そこで暮らす住民には賢明な行動と対応が必要とされる。このような大きな社会的変化にただとまどうだけでなく、地域の暮らしを守るためのチカラとして「住民力」を取り上げ、住民が地域の課題に立ち向かううえでヒントになる内容を大きく指し示す基調講演となりました。



また、日本社会が直面している超高齢化の波が、いかに地域に及ぼそうとしているか、これからの危機に立ち向かう「住民力」をいかにつくるか、その「住民力」が、いかに地域の危機への対応に結びつけられるのか、具体的な実践事例をもとに学びました。

## ボランティア養成講座 × 地域支え合いデビュー講座 「コミュニティガーデン講座」 ～みんなでつくるみんなの庭～

少子高齢社会に対応した持続可能なコミュニティ再生等の手法として「コミュニティガーデン」の位置づけがあります。

様々な人と関わりながら、時には地域参加のきっかけとして、「花のあるまちしばた」を誇りに想い、町民一人ひとりが自分らしい「コミュニティガーデン」を学ぶことを目的に開催しました。

### 1回目 11月8日 コミュニティガーデン見学

花の丘ガーデンクラブ事業について、まちづくり政策課担当者より説明をいただきました。また、主宰の橋本さんから、お庭の説明と苦労話や「花を通じてのまちづくり」ビジョンもうかがうことができました。小春日和で充実した見学会となりました。



**まちづくり担当**  
「平成21年度から花を通じての構想がスタートし、22年度から花の丘ガーデンクラブが活動開始しました。町民と一緒につくる庭をコンテンツに今後も展開していきたいです」

### 2回目 11月15日 コンテナガーデンをみんなでつくる

花の丘ガーデンクラブ主宰の橋本さんの指導のもと、地域福祉センター入口で、参加者が作ったラコッタコンテナが素敵に完成しました。



**参加者**  
「先生にコツやポイントをアドバイスしていただくと、やっぱりすてきになります。家でもやってみます」

**指導者**  
「花が人と人をつなぎます。自分の好きなこと興味のあることを楽しみながら教えてください」

### 3回目 12月20日 庭師の技を学ぶ

(株)柴田造園平間会長を講師に、参加者がマイ剪定ハサミで、旧まごころホーム前庭の樹木剪定の実践を体験予定です。(12月12日時点)

この時期に感じる、自然の美しさのリスペクト。樹木を剪定する人の姿も感じられ、温かい気持ちになります。みなさんにその雅(みやび)を譲られる花のまち柴田は、そこに生活する人の自然への畏敬の念と美意識の高さをうかがい知ることができます。